

製品名: FOXP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21039**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:75kD;Observed MW:82-90kD

抗原情報

遺伝子名	FOXP1
別名	FOXP1;HSPC215;Forkhead box protein P1
遺伝子 ID	27086.0
SwissProt ID	Q9H334
免疫原	ヒト FOXP1 の合成ペプチド

背景

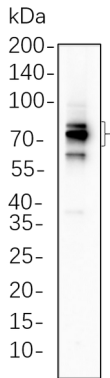
細胞局在: 核。核小体には存在しない。この遺伝子は、フォークヘッドボックス (FOX) 転写因子ファミリーのサブファミリー P に

属する。フォークヘッドボックス転写因子は、発生期および成体期の両方において、組織および細胞型特異的な遺伝子転写の制御において重要な役割を果たす。フォークヘッドボックス P1 タンパク質は、DNA 結合ドメインとタンパク質間結合ドメインの両方を含む。この遺伝子は、いくつかの腫瘍型で欠損しており、腫瘍抑制遺伝子を含むことが報告されている染色体領域 (3p14.1) にマッピングされているため、腫瘍抑制因子として機能する可能性がある。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



MCF7 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を FOXP1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。